平成20年度（対19年度実績）

事　務　事　業　評　価　表

作成日　平成　20　年　5　月　26　日

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課 地域医療室	所属長名	時田　繁	電話	483-1151 内線2212

1. 事務事業の位置付け・概要（ＰＬＡＮ）

コード	4113	事務事業名称	地域医療対策事業	短縮コード	経常	4113	臨時	3185

予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費

区分	☑ 自治事務　☐ 法定受託事務　☐ その他	根拠法令等	八千代市東京女子医科大学附属八千代医療センター整備事業補助金交付要綱 八千代市東京女子医科大学附属八千代医療センター救急医療事業等補助金交付要綱

事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）

夜間や休日における急病患者に対する診療を市内医療機関が輪番で行う。また、東京女子医科大学八千代医療センターは、八千代市の地域医療を支援する中核病院として、市の医療提供体制の向上を図るとともに、地域の医療機関と連携して、市民の医療課題に対応する。

事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測

平成18年12月8日に東京女子医科大学八千代医療センターが開院し、本市の医療体制の充実が図られた。また、内科･外科の休日在宅当番医制度に加え、19年度より歯科についても在宅当番医制度を実施している。

総合計画の施策体系		
５本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして
大項目（節）	01	保健・医療
中項目	02	医療
小項目（施策）	01	地域医療体制の整備・充実
	02	救急医療体制の整備・充実
細項目	01	地域医療体制の整備
	02	救急医療体制の整備
実施計画の計画事業	1102	総合医療センター整備事業

計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	～	計画事業費	千円

2. 事務事業の目的・指標・実績（ＤＯ）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	救急診療を必要とする市民
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 夜間救急待機医･休日当番医の業務委託契約、委託料の支払い、テレフォン案内の登録。 医療センター整備事業補助金及び救急医療事業等補助金を交付。 ※平成20年度に計画していること： 19年度と同じ。
意図 （何を狙っているのか）	市民が休日･夜間の緊急時に適切な医療を受けることができる。
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外

区分			単位	１８年度	１９年度		２０年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標１	市民	人			188,624	188,624
	指標２						
	指標３						
活動指標	指標１	診療日数	日			438	438
	指標２						
	指標３						
成果指標	指標１	受診者数	人			15,707	15,707
	指標２						
	指標３						
上位成果指標	指標１						
	指標２						
	指標３						

コード	4113	事務事業名称	地域医療対策事業	所属名	健康福祉課 地域医療室

			単位	１８年度	１９年度		２０年度
				実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円			564,897	1,062,501
		その他	千円			500,000	27,900
	主な事業費の内訳					補助金800,000,000 委託料47,671,260	補助金800,000,000 委託料47,671,260
人件費(B)			千円	0	0	14,221.2	14,221.2
トータルコスト(A)＋(B)			千円	0	0	1,079,118.2	1,104,622.2

３．事務事業の評価（ＳＥＥ）

評価類型	評価事項	評価区分	理由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☑ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☐ 評価対象外事項	医療センターは、地域医療を支援する中核病院として、市の医療体制の向上をはかると共に、地域医療機関と連携して市民の医療課題に対応するものである。 夜間急病待機医･休日当番医制度は、休日･夜間における緊急時の医療を確保し、本市救急医療体制の一翼を担う。
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☑ 達成していない ☐ 評価対象外事項	さらなる救急医療体制の構築に向けた対策が必要である。
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）	☐ 可能性はある ☑ 可能性はない ☐ 評価対象外事項	市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるためには、地域医療体制の一層の充実に向けた調整役を行政が担うべきである。
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☑ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☐ 評価対象外事項	救急医療体制の充実を図ることから現状で良い。
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☑ 有効性向上の可能性がある ☐ 効率性向上の可能性がある ☐ 両方可能性がある ☐ 可能性がない	
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等 ☐ 臨時的任用職員等の活用 ☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し ☐ 受益者負担の見直し ☐ 類似事業との統合・役割見直し ☑ 上記以外の方法	平成19年度より休日在宅歯科診療を開始したため、受診者数は他の医科に比べ少ないが、広報紙等による啓発を行うことにより、受診者数の増が見込まれる。 24時間365日の救急医療を提供する医療センターが開院し、地域医療機関との連携を図ることにより本市の救急医療体制の更なる向上が図られる。 類似事務事業名称 1：　　実施主体（所管部署）： 類似事務事業名称 2：　　実施主体（所管部署）：
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☑ ある ☐ ない	医療機関の連携のための会議開催が必要となる。

コード	4113	事務事業名称	地域医療対策事業	所属名	健康福祉課 地域医療室

今後の方向性

⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。

- ☐ 改革・改善して継続
  - ☐ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止
- ☐ 休止
- ☑ 現状のまま継続

高齢化等による医療需要の変化や市民の医療に対するニーズが増大すると考えられるが、コスト面を考慮すると現状のまま継続したい。

⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。

		経費		
		削減	不変	増加
成果	向上	☐	☑	☐
	不変	☐	☐	☐
	低下	☐	☐	☐

今後もコストを維持しながら、市民に救急医療を提供したい。

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

現在の市財政状況から東京女子医科大学八千代医療センターに対する助成内容の見直しを求める意見がある。

所属長コメント

東京女子医科大学附属八千代医療センターの開院に伴い、小児救急に係る診療環境を含め、より効率的な救急医療体制の構築を目指していきたい。

評価調整委員会評価

- ☐ 改革改善して継続
  - ☐ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止
- ☐ 休止
- ☑ 現状のまま継続

担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。